

バイオを知る

くらしとバイオ LETTER 5

NPO法人 くらしとバイオプラザ21

2013年10月1日号

活動報告・取材記事

「メディアの方に 知っていただきたいこと」 遺伝子組換え・農薬・食品添加物 3部作完成



筑波大学形質転換植物デザイン研究拠点との共同研究として、2010年より作成してきた3部作冊子が完成しました。遺伝子組換え作物・食品編、食品添加物編は、くらしとバイオプラザ21の会員などのご協賛を得て増刷することができましたので、メディアの方だけでなく、高等学校や大学の教材、生協などの勉強会資料、研究所の見学会資料などと、広くご活用いただきました。ホームページからのダウンロードも続いています。

尚、「知っておきたいこと～遺伝子組換え作物・食品」と「メディアの方に知っていただきたいこと～食品添加物」の冊子をご希望の方は、送り先を明記して140円切手2枚を同封のうえ、くらしとバイオプラザ21まで 郵便で、お申し込みください。2冊以上お入用の時はご相談ください。

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-5-3
鈴屋ビル8階 NPO法人 くらしとバイオプラザ21
Tel : 03-5651-5810 Fax : 03-3669-7810
E-mail : bio@life-bio.or.jp

～遺伝子組換え作物の学習用テキストに大きな反響～
毎日新聞社 小島正美氏より、遺伝子組換え作物を理解するための学習用テキストとして、大阪府立大学院教授・小泉望氏が作った冊子と「くらしとバイオプラザ21」製作の冊子が紹介された。翌日から当法人事務所に多くのお申し込みやお問い合わせが160件余りもありました。個人ばかりでなく、地方自治体、生協、図書館、大学、高校からもご連絡をいただき、反響の大きさに関係者一同身が引き締まる思いです。
(写真は記事と申込手紙の一部)



シンポジウム「メディアとともに考える薬の副作用～効果も副作用も薬のうち」のご案内
サイエンスアゴラ2013 <http://www.jst.go.jp/csc/scienceagora/>

サイエンスアゴラ2013(日本科学未来館他)が11月9-10日、東京お台場地域で開かれます。くらしとバイオプラザ21では、くすりの適正使用協議会と共催でシンポジウム「メディアとともに考える薬の副作用～効果も副作用も薬のうち」を開き、冊子「メディアの方に知っていただきたいこと～くすりの副作用」のお披露目をいたします。参加費無料です。どうぞ、お出かけください。

日時:2013年11月10日 13:00～14:30 場所:産技総研臨海副都心センター別館11階 会議室1
基調講演: 京都大学 中山健夫先生 コーディネーター:くらしとバイオプラザ 21佐々義子
パネリスト:慶応義塾大学 黒川達夫先生、国際医療福祉大学 水巻中正先生
毎日新聞社 小島正美氏 他





長村洋一先生(鈴鹿医療大学教授、一般社団法人日本食品安全協会理事長)が「健康食品をめぐるいくつかの問題」というタイトルで講演されました。

“病気にしない社会づくり”においては、“健康食”の役割は大きいものです。中でも健康食品は重要な位置をしめているのに、日本では定義があいまいです。健康食品の安全性、有効性はどのように調べられているのか、コマーシャルの影響の大きさ、医薬品との相互作用の観点からはこれからも研究が必要であることなどが話されました。私たちはどのように利用していくのがいいのかを考えるヒントをたくさんいただくことができました。



ifia(International Food Ingredients&Additives Exhibition and Conference-国際食品素材/添加物・会議)へ出展

2013年度5月15日-17日に東京ビッグサイトで開催されたifia「食の安全・科学ゾーン」へ、NPO法人くらしとバイオプラザ21が初めて出展しました。国内外から多くのブースが出展されており、いろいろな方にお目にかかることができました

くらしとバイオのブースへも多くの方が立ち寄り、用意した冊子「メディアの方に知っていただきたいこと」は、好評ですべてなくなりました。

盛会のうちに3日間の会期を終えました。この経験を生かして、来年(2014年5月21-23日)も出展したいと考えています。

2013年7月11日 コンシューマーズカフェ「GM作物の誤解」

筑波大学東京キャンパス文京校舎で、筑波大学形質転換植物デザイン研究拠点(研究代表 鎌田博教授)との共催でコンシューマーズカフェを開きました。毎日新聞社 小島正美氏の提案で完成した「メディアの方に知っていただきたいこと」3部作の完成を記念して、「GM作物の誤解」というご講演をいただきました。メディア界で活躍される小島さんの経験談を交え、メディア側の視点でメディア論を聴きました。ことにメディアを皆で見守っていく「メディアのメディア」というお話には多くの人が共感を持ちました。最後は、グループに分かれ、参加者全員で話し合いを行いました。



2013年8月2日 つくば農場見学会開催

筑波大学形質転換植物デザイン研究拠点との共同研究の一環として、バス見学会を開きました。ほ場や遺伝子組換え作物の実物を見たいといわれる方、ジャーナリスト、教員、バイオの研究者を目指す高校生から最高齢は84歳まで、31名が参加しました。遺伝子組換えユウカリ、花粉症治療米の試験栽培ほ場や、資源作物見本園、雑草園を訪ねました。見学後の講演会の合間には、遺伝子組換え蕎麦をまじかで見たり、遺伝子組換え害虫抵抗性スイートコーンを試食したり、盛りだくさんな一日でした。





3月8日 茅場町カフェ くらしとバイオ21事務所
中外製薬㈱ 松崎淳一さん
「制がん剤の今後の動向～抗体薬について」



4月12日 茅場町カフェ サン茶房
第一三共ヘルスケア㈱ 輪竹麻美さん
「肝斑(かんぱん)改善薬開発物語」



5月24日 東京テクニカルカレッジ
農業生物資源研究所 石橋和夫さん
「感染する？しない？植物とウイルスのミクロな駆け引き」



6月21日 茅場町カフェ サン茶房
東京大学医科学研究所 武藤香織さん
「身近な遺伝子検査」



7月12日 茅場町カフェ くらしとバイオ21事務所
アサヒビール㈱ 佐々木克哉さん
「わくわくビールセミナー～造り方とその科学」



9月13日 茅場町カフェ サン茶房
キッコーマン㈱ 半谷吉識さん
「しょうゆのサイエンス」

バイオカフェからのお知らせ

バイオカフェは事前申込みは不要です。どうぞお誘い合わせのうえ、お気楽においで下さい。
音楽演奏、手づくりケーキでお待ちしています。会場により事前申込みの有無、参加費が異なります。
詳細はホームページ <http://www.life-bio.or.jp/biocalfe/>をご覧ください。

これからのバイオカフェ&医食同源バイオカフェ

- 10月11日 茅場町バイオカフェ サン茶房 「抗体医薬のお話(仮題)」
- 10月20日 神奈川工科大ITビル(厚木市) 医食同源バイオカフェ2「身体によい柿のあれこれ」
- 10月27日 神奈川工科大ITビル(厚木市) 医食同源バイオカフェ3「コーヒーによるヘルスケア」
- 11月 2日 千葉県立現代産業科学館バイオカフェ「くすりののみ方・つきあい方」
- 11月17日 観環居バイオカフェ(横浜市) 「庭のお花を美しく」
- 11月19日 三鷹ネットワーク大学バイオカフェ「生産者が語る農業カフェ(仮題)」
- 11月29日 東京テクニカルカレッジ(TTC)バイオカフェ「甘いだけではない糖鎖」
- 12月 1日 神奈川工科大ITビル(厚木市) 医食同源バイオカフェ4
「食と健康を総合的に考える“クセ”」
- 12月 8日 神奈川工科大ITビル(厚木市) 医食同源バイオカフェ5
「チョコレートの文化と健康機能」

みなさまのご参加をお待ちしています。
詳細は、ホームページをご覧ください。

<http://www.life-bio.or.jp/biocalfe/index.html>



その他のイベントのご案内 バス見学会・コンシューマーズカフェ

10月5日 バス見学会「神奈川県立生命の星・地球博物館」
10月6日 キッチンサイエンス(千葉県立現代産業科学館)
11月28日 コンシューマーズカフェ「食と農を考える」
講師:宮城大学食産業学部フードビジネス学科
三石誠司 教授
18:00より「くらしとバイオプラザ21」事務所でいきます



取材報告

日本はBSE清浄国と承認されました

2013年6月4日 農林水産省は国際獣疫事務局(OIE)から牛海綿状脳症(BSE)の清浄国であるという証明書を受け取ったと発表がありました。これまでの獣医師や畜産業従事者はじめ多くの関係者のご努力が実り、大変に喜ばしいことだと思います。しかし、飼料の管理などのリスク管理の有効性に対する理解の徹底やサーベイランスの考え方が消費者に正しく伝わるための活動など、これからもまだ課題は残ります。

講師派遣 2013年4月～9月

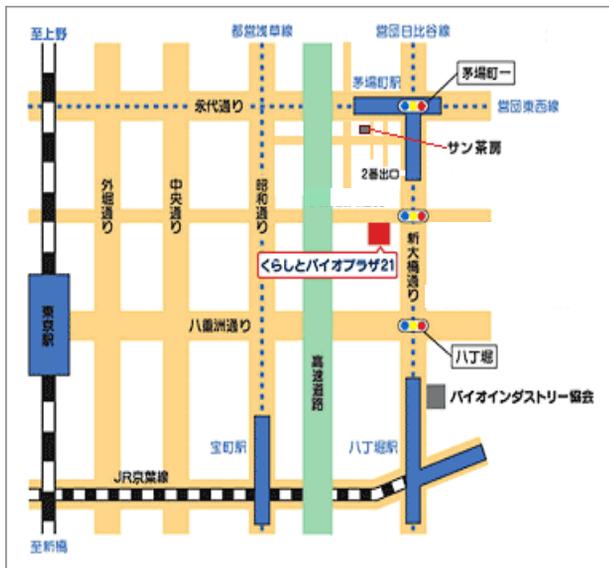
- 4月17・24日、7月10・17・24日 お茶の水女子大学 知の市場 日本サイエンスコミュニケーション協会共催
「サイエンスコミュニケーション実践論Ⅱ」 参加者25名
- 5月11日 名古屋大学 B人セミナー 「サイエンスコミュニケーション手法と評価」 参加者15名
- 7月22日 東京大学 「生命倫理」 参加者180名

事務局より



入会案内

バイオに興味のある方、意見をお持ちの方は協力会員に入りませんか!!当NPO が主催するイベントの案内、発行図書などをお送りします。一緒に活動しましょう!!年会費は、一口2,000円です。お問い合わせは、下記の電話またはFAXでお願いします。



編集後記

2013年度は「メディアの方に知っていただきたいこと」三部作の完成から、展示会に出展したり、新聞掲載をきっかけにいろいろな方から問合せを頂いたりしました。11月10日、サイエンスアゴラのシンポジウムでは、同じシリーズとして「くすりの副作用」のお披露目をします。お台場に集まるサイエンスコミュニケーター、学芸員、教員の方々と、さらに新しいご縁が広がりますようにと、楽しみにしています。この経験をみなさまとご一緒にたく、どうぞ、お台場にお出かけください。

NPO法人 くらしとバイオプラザ21

<http://www.life-bio.or.jp>

編集 佐々義子・二瓶美郷

カット 中村典子

〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町3-5-3 鈴屋ビル8階

電話 : 03-5651-5810 FAX : 03-3669-7810

e-mail: bio@life-bio.or.jp

●地下鉄:東西線・日比谷線「茅場町駅」2番出口 徒歩1分